

団体名 <b>八重瀬町立具志頭中学校</b>	連絡先 TEL : 098-998-2220 Eメール : <a href="mailto:gushikami@ii-okinawa.ne.jp">gushikami@ii-okinawa.ne.jp</a>
---------------------------	---

## 1 実践事項 ( ② )

タイトル：「主体的に学ぶ生徒の育成を目指して」

## 2 実践内容

- (1) 朝学習・放課後補習
  - ①朝学習は国語・英語、放課後補習は数学の課題に取り組む。
  - ②教科担当教師は、10分程度のプリントやワーク、タブレットドリルを用意し、指導は全職員体制で行う。
  - ③学習委員が、課題の配布・解答・回収を行い、生徒同士の教え合いによる自主学習を促す。
- (2) 定期テスト1週間前の補習
  - ①テスト前部活動停止期間を利用して、放課後15分の課題に取り組む。
  - ②学年ごとに教科を決め、教科担当は課題を準備し、全職員体制で行う。
  - ③補習内容はテスト出題傾向問題とする。
- (3) 家庭学習の取り組み
  - ①平日は、曜日ごとに教科を決め、授業と連動した宿題を出す。
  - ②登校したら宿題をチャンスルーム前に提出し、学習委員が提出状況をチェックする。
  - ③家庭学習ノートは土日を中心に自主学習し、月曜日に担任へ提出する。
  - ④家庭学習ノートに保護者のサイン欄を設け、保護者との連携を図る。
  - ⑤1冊終了ごとに校長に提出し、提出状況をグラフ化して掲示する。
- (4) 「自学の日」の取り組み
  - ①金曜日の朝学習の時間は、1週間の授業内容をふり返る時間とする。
  - ②3～4人のグループをつくり、今週の授業内容からどんな学習をした方がよいか、グループで相談しながら、自分の家庭学習ノートに学習する。
  - ③教師はノートの内容を見て、個別に支援やアドバイスをを行う。
  - ④「自学の日」の時間に計画したことを、土日の家庭学習に活かす。
- (5) テスト予想問題づくり
  - ①定期テスト前の朝学習の時間に取り組む。生徒は各自クロムブックを準備する。
  - ②ジャムボードを活用して、クラスで予想問題をつくる。1人1問以上作成する。
  - ③予想問題の中から5問選び、ワークシートに記入する。
  - ④選んだ問題を自分で解き、教科の宿題として、指定の曜日に提出する。
  - ⑤ジャムボードは教科・クラスごとに印刷してチャンスルーム前に張り出す。
- (6) 高校生による夏休み補習
  - ①夏休みの宿題や苦手な教科の問題を高校生から習う。
  - ②生徒は、高校生の進路選択や決定、中学校期の学習方法等を質問することで今後の進路選択に、活かす。
- (7) 放課後各種検定の対策や三者面談待ち時間を利用した自主勉強会
  - ①英検2次対策の面接練習や数検2次対策等、三者面談の待ち時間を利用して勉強会に参加する。

### 3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）

#### 朝学習・放課後補習の充実



#### 授業と連動した宿題

今週の宿題		2年 宿題
5/1	月	地理学習ノート P12・P14
5/2	火	数学の学習(7-2) P6~7(98頁) 学習整理/あつは P5~7(1つずつやる)
4/26	水	7-7 P6 ~ P13(から提出)
4/27	木	英単語 Go! P8~11
4/28	金	
	土	
	日	

- 学習委員による宿題チェックと提出
- 教科担当の先生と連携をとり、宿題の取組を呼びかける



#### 自学の日（金曜日 8:15~8:30）



## 夏休みの向陽高校生による補習教室

基本の計算や苦手克服

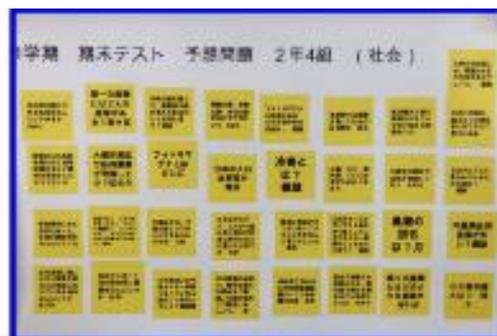


教師志望の高校生



## 予想問題づくり

生徒が予想問題を作成  
↓  
副担任が印刷・掲示



### 4 成果

- (1) 朝学習・放課後補習で、曜日を固定し、継続的に行うことで国語、数学、英語の基礎・基本の内容が定着した。
- (2) 授業と連動した宿題の提示やテスト前の補習を行うことでテストに向かう意識の高揚に繋がった。
- (3) 高校生から分からない教科を教わることで苦手な教科の克服に繋がった。また、進路選択に向け質問を行い高校生の体験を聞くことで進路に対する意識が高まった。

### 5 課題

- (1) 自分で家庭学習を計画し、見通しを持って学習できる生徒が少ないため、キャリア教育の充実を図る必要がある。
- (2) 授業と連動した宿題の提示と効果的・有効的なタブレットの活用を行う必要がある。